

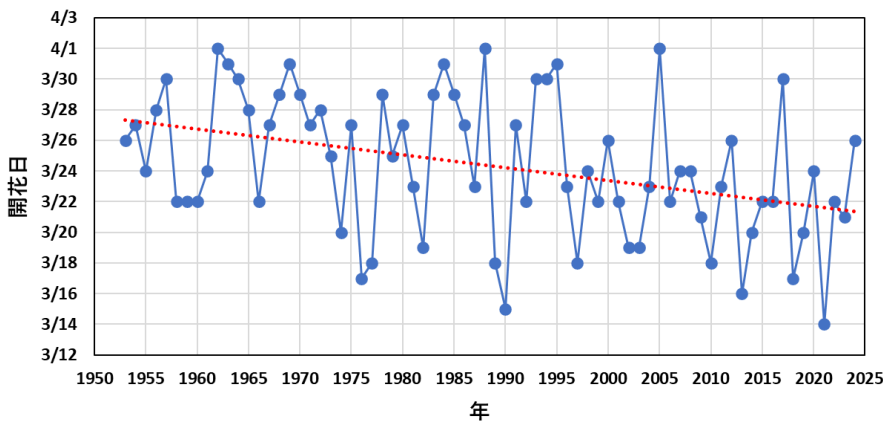
長崎県気候変動適応センター ニュースレター 第4号

今回のテーマ:桜の開花時期と生物季節調査

生物は季節性を持っており、植物の開花や鳥の初鳴きなどを観察することで、気候変動が環境中に与える影響を見ることができます。今回は長崎での観測結果を紹介します。

1. 桜の開花日

長崎の桜開花日の推移



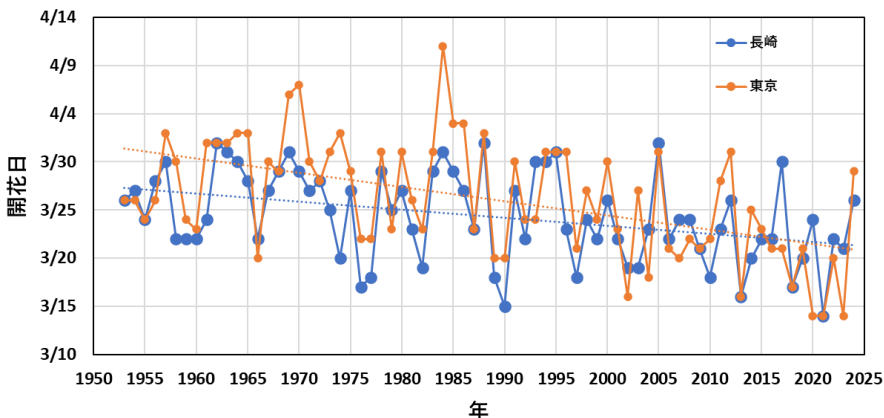
出典:気象庁公開データを基に長崎県気候変動適応センターが作成

開花日の長期変動

桜の開花時期は特に気温と関係があるとされ、地球温暖化や都市化の影響を表す指標として、観測が行われています。

図のとおり長崎の開花日は早くなっていることから、気温上昇が関係していると考えられます。

長崎と東京の桜開花日の比較



出典:気象庁公開データを基に長崎県気候変動適応センターが作成

開花が遅くなることも！？

桜は冬の寒い時期になる前に一時的に生育が止まり(自発休眠)、一定期間低温に晒されることで覚醒し、生育が再開します(休眠打破)。気候変動により暖冬になると、休眠打破が遅れることで開花日が遅れるため、近年では暖地である九州の開花日が東京より遅れる場合も見られます

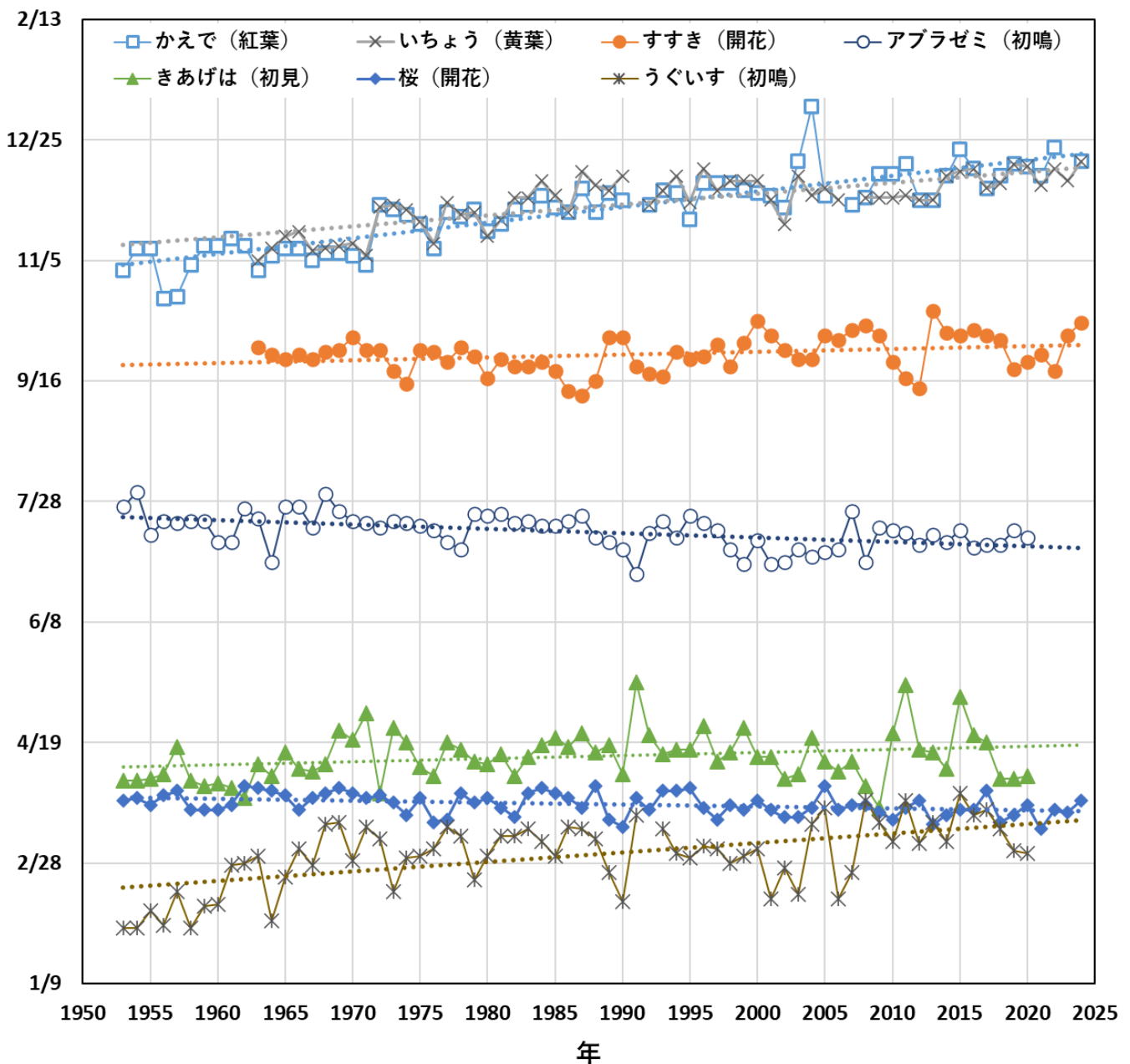
桜の雑学

桜で最も一般的、代表的な品種は「ソメイヨシノ」ですが、実は一本の木を人工的に接ぎ木して全国に広まったとされています。このため、すべての樹が同じ遺伝子情報を持ち、同じ条件では同じ時期に開花すると考えられるため、気候の変化を知るための対象として適していると言われています。

長崎県気候変動適応センター ニュースレター 第4号

2. 生物季節調査

気象庁は、生物に及ぼす気象の影響や気候の長期変化、季節の遅れ進みなどを把握するために、生物季節観測を行っています(動物は2020年まで)。下の図は観測開始(1953年)以降の、県内の調査結果を整理したものです。アブラゼミの初鳴の早まり、かえでの紅葉の遅れなど、気温上昇が原因と考えられる変化が見られています。



出典:気象庁公開データを基に長崎県気候変動適応センターが作成

長崎県気候変動適応センター (長崎県環境保健研究センター内)

〒856-0026 長崎県大村市池田2-1306-11

電話: 0957-48-7560

HP: <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kikouhendo/>

